

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度 第3回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成30年1月16日(火) 午後3時～4時30分
開 催 場 所	所沢市役所6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	柳下高明、塚 俊彦、伊藤堅治、内野信行、中里市三、荒川哲夫、三原由紀子、 本橋賢一、高柳進、浅田衛、田中雅文、倉持伸江
欠 席 者 の 氏 名	鹿島正之助、藤野邦夫、梁瀬正明
説明者の職・氏名	
議 事	(1) まちづくりセンターと公民館について ・まちづくりセンターと公民館の組織について ・まちづくりを担う地域の状況について ・各公民館の公民館事業企画運営委員会等について (2) 公民館事業について ・地域ごとの取組について (3) その他
会 議 資 料	資料1 平成29年度第2回公民館運営審議会 意見のまとめ 資料2 まちづくりセンター組織・事務の流れ 資料3 まちづくり協議会等構成図 資料4 「公民館事業企画運営委員会」等について
担 当 部 課 名	教育長 内藤隆行、教育総務部長 美甘寿規、教育総務部次長 師岡 林、 中央公民館長 内堀耕介、富岡公民館長 斎藤洋一、柳瀬公民館長 鈴木明彦、 松井公民館長 森田喜良、新所沢公民館長 澤田孝男、三ヶ島公民館長 森澤 宣行、山口公民館長 仲 正之、新所沢東公民館長 酒井忠夫、並木公民館長 阿 部美和子、吾妻公民館主査 有沢法夫、生涯学習推進センター所長 倉富恵理 子、社会教育課長 安田幸雄、主査 守野 豊、主査 石井のぶ江、臨時職員 田 中和子 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>【1 開会】 社会教育課長の司会により開会した。</p> <p>【2 あいさつ】 本日はお忙しい中、公民館運営審議会にお集まりいただき感謝申し上げます。所沢市では公民館と出張所が別の組織だったが、現在はまちづくりセンターの中に公民館が位置づけられている。公民館は社会教育法に定められ、公民館設置条例に基づき運営されている。公民館運営審議会についても同様である。古くは11の公民館ごとに公民館運営審議会があったが、10年以上前に一本化し、各地区の代表者と有識者で組織し、市全体についてご意見を伺っている。それに代わり各公民館では、事業を進めるために企画委員会、企画運営委員会などが様々な形で運営されている。現在はセンター長が公民館長を兼ねているが、各地区の特性があるなかで、公民館長と地域の組織の方々と相談して事業を進めているのが実情である。本日も大所高所からご意見を伺いたい。</p>
委員長	<p>前回の会議は8月であったが、各地域では様々な事業が行われ、委員の方々も行事に参加されたと思うので、後ほど意見交換ができればと考えている。前回出た質問事項を受けてということで事務局の説明もあると思うが、本日もご協力をお願いしたい。</p>
司会	<p>ここからは委員長の進行でお願いします。</p>
委員長	<p>【3 議事】 (1) まちづくりセンターと公民館について ① まちづくりセンターと公民館の組織について ①について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1において、前回の会議でのご質問を「まちづくりセンターと公民館の組織について」、「まちづくりを担う地域の状況について」、「公民館運営審議会について」、「公民館の利用について」、「公民館職員の課題や悩み」、「その他」の項目に分けた。今回は太字の箇所を説明する。その他については、次回の会議以降に説明する。</p> <p>まず、まちづくりセンターと公民館の組織について、「まちづくりセンター組織・事務の流れ」を資料2に示した。公民館は平成22年度まで教育委員会</p>

事務局（続き）	<p>に組織されていたが、平成23年度に組織編成され各地区のまちづくりセンターの中に位置づけられた。それにより、まちづくりセンターは市民部となったが、社会教育法や公民館設置及び管理条例については従来どおり教育委員会所管で運営している。以前は出張所と公民館に分かれており、地域のコミュニティについては出張所が関わっていたが、防犯や防災、福祉、環境などの課題に地域の方々が、自発的で主体的な活動を安定的に継続できるように支援するために、一体的横断的に再編されたものである。まちづくりセンターはコミュニティグループが新しくでき、窓口サービスグループ、公民館グループと3つのグループで業務を進めているが、11館の内10館はコミュニティ機能と公民館機能が一体となって業務を進めている。</p>
委員長	<p>これに対して何か質問はあるか。</p>
委員	<p>公民館まつりは各地区で行っているのか。コミュニティまつりやその他のイベントもあるのか、それとも総合的に一緒にまつりを行っているのか。</p>
事務局	<p>秋に各地区で公民館まつり（地区文化祭）及び地区体育祭が行われている。また、コミュニティ事業については、所管は地域づくり推進課になるが、まちづくり協議会が11地区中9地区あり、その中でも様々な事業が行われている。</p>
委員	<p>公民館まつりが地域のイベントと合体してやっているケースもあるのか。</p>
委員長	<p>合体した地域のイベントについて、公民館で何か例があるか。</p>
事務局	<p>地区文化祭を見て回ったが、自治会ごとに発表するコーナーがあり各地区で特色がある。そのような取り組みは進んでいる。</p>
新所沢公民館長	<p>新所沢地区では、コミュニティ推進グループと公民館グループを一体化し、コミュニティグループとして窓口サービスグループの2つのグループで構成している。公民館の事業としては11月に地区文化祭ということで、登録サークルや地域の方に声をかけ作品を出していただいで展示したり、向陽中の美術部の方々にもご協力いただいている。今年は特にまちづくり協議会のブースを設け、協議会の事業を地域の方に紹介した。</p> <p>【②まちづくりを担う地域の状況について】</p>

委員長	次に②について説明をお願いしたい。
事務局	前回の会議で他の地区の状況についてご質問があり、資料3では各まちづくり協議会の組織図を地区ごとに一覧表にした。まちづくり協議会は市内11地区のうち9地区に組織されている。協議会の組織については、地域によって設置された経緯や組織している団体が異なっている。協議会が組織されていない吾妻地区については町内会連絡協議会の資料を示している。
委員長	まちづくり協議会については地区によって違いもあり、資料を読んでいただきご理解いただきたい。
委員	9地区にまちづくり協議会が設置されているが、所沢と吾妻はこれから組織されるのか。
中央公民館長	所沢地区では設置に向けて協議しているところである。今年度は協議会に関係する会議を、町内会連合会で3回開催した。高齢者やタワーマンション・町内会の加入率など、地域の課題を中心に話をした。12月に行われた会議では、建設的な意見が出され今後もさらに検討していくこととなった。同じような組織を作る必要があるのかというご意見もあるので、今後も引き続きご理解をいただけるよう努めていく。
吾妻公民館 主査	まちづくり協議会設立に向けて、その有効性について機会があるごとに理解を求め設立に向けて働きかけているが、現在のところ、設置について意見の一致には至っていない。設立の時期についても明らかになっていない。今後も引き続き、吾妻町内会連絡協議会において、地域づくり協議会の是非について協議をすることになっている。
委員長	協議会の設置について協議する場ではないので、設置されているところと未設置のところがあるということをご理解いただきたい。
委員長	【③各公民館の公民館事業企画運営委員会等について】 次に③について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	前回の会議で各地区の公民館連絡会、連絡協議会などの組織についてのご質問より、資料4を作成した。組織を説明する前に、所沢の公民館の歴史を再度説明する。

事務局(続き)	<p>元々は各公民館に公民館運営審議会があったが、公民館を取り巻く状況の変化に伴う市民の学習要求の多様化により、市民と公民館がより協働して事業展開をしていくことの必要性に対応するため、公民館が実施する各種事業を企画の段階から公民館職員と共に共同作業で実施することを目指し、平成14年に各地域の公民館運営審議会を公民館事業等企画運営委員会とし、公民館全体に関わることを審議する場として、現在の公民館運営審議会を市で統一して設置した。</p> <p>資料4-2について、現在の公民館事業企画運営委員会は各地域により休会や解散したりしている地区もあるが、代わりにまちづくり協議会の中に教養部会などもあり、公民館の中での市民と協働する関わり方は様々な形で行っている状況である。</p> <p>同委員会については公民館利用者や自治会関係者、学校関係者などで構成されており、主に公民館事業の企画について審議している。地区文化祭などは実行委員会を組織し、利用団体や地域の方々も一緒に企画している。成人のつどいも各地域で実行委員会を組織して開催しており、事業を行う時には地域の方々のご協力を得ながら進めている。</p>
委員長	<p>今の説明に対してご質問はあるか。</p>
委員	<p>企画運営委員会は現在設置されているのが5館ということだが、これは順次設置されるものなのか、それとも各公民館の自主に任されているものなのか。制度上の位置づけを含めて教えていただきたい。</p>
委員長	<p>社会教育課としての方向性はあるのか。</p>
事務局	<p>様々な形で市民の方々の協力を得ながら事業を進めていくという考えで公民館を運営しているので、統一的にこういった企画運営委員会を作らなくてはいけないという方向づけではない。社会教育課からはそのように公民館に働きかけている。</p>
委員	<p>制度上作らなければならないとか、作ることを奨励するということにはなっていないということによろしいか。</p>
事務局	<p>法律上の要綱等は特に作っていない。</p>
委員	<p>今「市民と協働する事業の割合」ということがあったが、名称からいくと企</p>

委員（続き）	<p>画運営委員会というのは、企画なので市民主体で事業を考えていくための素地かと思われる。協働や協力について市民の主体性のレベルは様々である。公民館が行うものに対して市民が協力するのは、どちらかという公民館が主体になって市民が手伝うというレベルのものもある。意見としては、できればこういったものを作って、市民が主体となって事業を企画・運営していく仕組みがあった方がいいように思うが、行政としてはどのように考えるか。</p>
事務局	<p>市民との協働の仕方は様々である。企画運営委員会で企画したものを採用するケースもあるが、既存の団体とコラボして事業を行うという場合もある。また、市の事業に対して団体に助けを求めて協働しているという場合もある。例えば、小手指公民館分館では「赤ちゃん広場」の中で、所沢フィルハーモニー管弦楽団という利用団体のオーケストラの方に協力してもらうなど、様々な取り組みをしています。市民と協働と言っても統一的なものでなく、様々な形で工夫をしながら取り組んでいる状況である。</p>
委員長	<p>他に意見等あるか。</p>
副委員長	<p>表の中の協力会というものが、大体、発展的解消ということで、まちづくり協議会にスライドしている。例えば、中央公民館の利用者の会は解散とある。公民館には利用者のネットワーク組織があるというイメージがあるが、中央以外の公民館は利用者連絡会、利用者懇談会のような組織として継続しているのか。事務局では把握しているか。</p>
事務局	<p>この表にないが、利用者の方々と事業で協力している。こちらで全部は把握していないが、例えば山口公民館では、毎年年末に利用者の方と公民館の大掃除をしている。</p>
山口公民館長	<p>山口はサークル連絡協議会が利用者の会ということで、活発な活動が行われている。先程説明があったとおり、12月21日の山口まちづくりセンターの大掃除において、サークル連絡協議会の方にご協力いただいた。参加者は93名で、蛍光灯の掃除などやっていただいた。文化祭については、まちづくり協議会の学習文化部会が中心となって実行委員会形式で行っているが、学習文化部会の部会長はサークル連絡協議会の会長が就き、元々の公民館の流れは生きて地域に根付いている。</p>
副委員長	<p>掃除に多くの方々が集まる秘訣があるのか。</p>

山口公民館長	<p>サークル連絡協議会の会長は学習文化部会の会長でもあり、普段から、まちづくり協議会とまちづくりセンターの関係が近く、小さなことでも常に相談し合っている状況がある。</p> <p>また、連絡協議会から、夏祭り開催が多いので盆踊りの講習を山口公民館の事業としてサークル連絡協議会と共催でやってもらえないかと話があったので、積極的にに関わり、昨年の夏祭りの前に実施した。関係性が良好なところが秘訣の一つではないかと思っている。</p>
副委員長	<p>まちづくりセンターからすれば、まちづくりを中心的に担う地域の人たちと、公民館の利用者とは必ずしも重なっているわけではないと思うが、今の話を聞くと利用者と地域のリーダーが接合されて、サークル連の組織とまちづくりの組織がうまくかみ合っている。公民館やまちづくりセンターに関わって目配りをしているということを学ばせていただいた。</p>
委員長	<p>【（２）公民館事業について】</p> <p>①地域ごとの取り組みについて</p> <p>前回の会議で委員の皆さんに、できれば公民館事業を見てきていただきたいと話をした。事務局より３名の委員が事業を見ていただき、また実際に関わっている方もいると聞いている。それぞれの方に感じていることを話していただき、それに対して各委員さんやセンター長さんから質問をいただきたい。</p>
委員	<p>センター長より、公民館が主催している事業を見てほしいと声をかけていただき、乳幼児を持つ若い母親の料理実習教室を見せていただいた。</p> <p>若い年齢層の活動が分かったが、人生百年と言われる中で、中高年７０歳以上向けの社会教育とは何かと考えた。所沢には生涯学習推進センターもあり学ぶところはあるが、７０歳以上では実際にどういう定義で社会教育の活動を行えばよいのか、私自身も提言できない。高齢者向けの社会教育とは何かということが、公民館の稼働率を上げるにはどうしたらよいかということの切り口になると思う。</p>
委員	<p>公民館事業もいろいろあるが、講座については公民館だよりで承知している。大きな行事には参加している。</p> <p>その中で二つの小学校に募集をかけて行っている「麦刈りから食卓まで」という事業に関わっている。柳瀬小学校中学校の裏に、地主さんのご好意で農地を借り、１１月頃、麦を蒔き１月頃には麦踏みや草むしりなどを行い、６月に</p>

<p>委員(続き)</p>	<p>は麦刈りをしてそれを干して脱穀する。民俗資料保存会が協力してくれ、ほとんどが農家の方なので持ち帰って精麦所で精麦をする。11月にはその精麦した麦をうどんにしてみんなで食べるという流れである。1年を通した作業を毎年繰り返している。私も麦まきから最後のうどんにして食べるころまで関わっている。参加できる自治会長も参加している。</p> <p>子どもたちは小さい板の上でこねて、うどん作りを体験する。大人は天ぷらを揚げたり、汁を作ったりしてうどんを食べさせてあげる。そういった流れを体験することは、子どもにとってもいい体験になる。</p>
<p>委員</p>	<p>前回、地域の課題を考えてくるということだったので、議事録を読み数か月いろいろ考えた。まちづくりセンターという組織で、地域を繋げるというようなことなのかなと思う。全体を把握はしているわけではないが、私の住んでいる自治会では、防犯や子どもの登下校の見守りなど、様々な活動をしている。まちづくりセンターでそういったこともやるということなのか。地域の団結力やまとまりは、子どもの学区と重なり合わないと難しいと感じる。</p> <p>根本的に公民館での学びが趣味、教養中心となっているということで、文科省の意見書などがでて、地域の課題解決を柱に据えて公民館を活性化することだが、個人的な意見としては、なぜ趣味や教養が中心で悪いのかという感じもする。特に学校教育で足りない点を社会教育・公民館で学ぶということで、人が集まる公民館の組織でなぜ悪いのかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>始めにお話しいただいた若い世代の料理教室は、子育て学級の一コマということではなく単独での企画なのか。</p>
<p>委員</p>	<p>子育て講座の中の一コマであり、対象は親子である。</p>
<p>委員長</p>	<p>子どもの保育がありお母さん方が料理に専念できて楽しそうだった、それを見ながら高齢者の社会教育ということを発展的に色々考えたものであった。</p> <p>柳瀬地区は、年間を通しての麦の成長を見ながら人間の成長も見るという話だった。並木地区では、課題については分かりにくいところもあるという話であった。各地域でこんな事業をやっているなどお話しいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私たちの地区では、各団体で議論した結果、相当数の団体の中からピックアップして選び、まちづくり協議会（イーストネット）を組織した。公民館企画運営委員会はイーストネットの中の別組織である。町会長は防犯防災など様々な行事があるが、それはそれで取り組み、全体的に地域として何が必要なのか、</p>

委員（続き）	<p>皆でできることは何かなど地域の課題を議論した。</p> <p>例えば「子ども広場」を週2回程度開催している。小学生の宿題や、中学生も多ければ30人ぐらい参加する。他にも、小学生は地域のお母さん方が掃除しているのを手伝うなど、そこで一つの体制というのができていないのではないかと思う。</p> <p>新所沢東は8つの町会しかないので、町会長が全部のブロックから出てもらう必要があり、さらに若手を登用してもらう方針である。町会長の負担が大きいので、町会長以外の副会長や総務の方、事務局の方などは次の未来に繋ぐメンバーをお願いしている。</p> <p>まちづくり協議会が組織されていないところもあるが、地域の特性を生かして活動していけばいいと思う。子どもはそれをモットーに、これからもその方向で活動していく。</p>
委員長	<p>新所沢東地区のお話だったが、「子育て広場」というのは公民館事業というよりは、イーストネット主体の事業ということでよろしいか。</p>
委員	<p>その通りである。</p>
委員長	<p>公民館とも連携をしているのか。</p>
委員	<p>イーストネットの「子ども健全育成部会」の中で小・中学生の子どもたちのことについて議論し、元教員の方をお願いして活動している。</p>
副委員長	<p>子育て中の母親向けの講座は、大事なテーマの講座である。それが地域の母親や子どもの愛着心やつながりを作って10年先20年先のネットワークになるという話も聞くが、一方で私の大学がある多摩地域では、そういった子育て中の母親向けの講座の参加者が最近減ってきている。ニーズはあるが働く女性も多くなっているの、産休育休中に出られる単発のものなら参加できるが長期的なものには出られないとか、自主グループ化した時に参加したくても参加できなくなっている。</p> <p>どのような内容でどのような時期に開催するか、工夫が必要だという話を聞く。所沢は住宅地もたくさんあり、若い世代も多く住んでいる地域だが、そういった変化や工夫はどのように取り組んでいるのか。</p>
新所沢公民館長	<p>子育て支援ということで、他地域は母親を中心に事業を企画しているが、新所沢地区では3年ぐらい前から、父親にも育児に協力してもらう目的で「パパ</p>

<p>新所沢公民館長 (続き)</p>	<p>スクール」という事業を展開している。ほっとメールやフェイスブックで PR してもなかなか集まらないので、来年度以降はお母さんお父さん一緒に参加できるような単発講座にしていこうかと考えている。お父さんが講座に来ることが家庭を振り向かないことに繋がってしまうこともあるようなので、お母さんと子どもと一緒に参加できるような講座の方が参加しやすいのではないかと考えている。</p>
<p>教育長</p>	<p>近所の方が三ヶ島公民館のスポーツのサークルに入っていて、年末の掃除も楽しみにしていた。文科系のサークルも皆集まって掃除するそう。また、並木の公民館でのソフトボールチームの会合に行ったが、学校開放のグラウンドの掃除をしてきたと言っていた。本当にうれしい話で、所沢市の地区の力を感じる。また、所沢市では成人式も地域分散方式で各地区が実行委員会を作って式典を行い、後半は新成人に任せているが、他市では大きな市民会館に集めて行い、場所によっては新成人が会場に入っていないところもある。そういった点では地域を大事にしてきた力が確実に現れているのではないかとと思う。</p> <p>乳幼児期の講座については、保健センターで小まめに保健師や看護師が講座を行っている。児童館も子育て相談を行っている。保育園にもお金を出して、子育て支援センターを開設している。学習の機会も重層的になっているので、公民館が果たしてきた役割も昔とは違う面もある。</p> <p>昔の公民館は、手厚く事業講座を開催してサークル活動と発展し、その数は大きいのが、だいぶ高齢化し、サークルも減っている傾向があると感じている。その辺りが今後の課題である。さらに、まちづくり推進協議会により活動が広がり、非常にプラス面をもって動いている。</p> <p>富岡や小手指の公民館には、昔は留袖や結婚式に着るものなどを共有して持っていて、貸し出していた歴史がある。今で言えばリユース、リサイクルというものである。所沢の公民館活動は非常に歴史も古く奥が深い。</p> <p>新しい需要に応じて、公民館も地区センターになっていったのだろうと思うが、教育委員会としては社会教育というのは社会教育の館だけでやるものではなく、老人福祉センターやコミュニティセンターでも講座や学習は行われていると思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>昔からある公民館のリユースやリサイクルの話は初めて知って驚いた。成人式や文化祭など大きな事業もあるが、悩まれたことなどあるか。</p>
<p>新所沢公民館長</p>	<p>新所沢地区はまちづくり協議会が平成26年7月に設立され、今年で4年目だが、その時に協議会事業として「ふるさとだより」というふるさと上映会を</p>

新所沢公民館長 (続き)	開いた。それがとても良かったので、公民館で再度事業としてやったらどうかということで今年成人式の前々日、調度冬休みの最後日に親子連れで来てもらおうということで上映会を行った。公民館と協議会がコラボして行った事業であり、今後も協力してできる事業があれば行っていきたい。
山口公民館長	子育て中のお母さん方を集めて「つきいち交流フィーカ」という事業を2年間続けている。お母さん同士ラインでグループを作っていて、ある程度グループ化してきたが、2年間続いた事業の1グループがうまくいかなかった。若い方は強い人がいて引っぱられて何かやるのがあまり好きではないようだ。今は第2期の「つきいち交流フィーカ」が始まっている状況で、若い人が集まってサークルを作るというのは難しいと感じている。
委員	<p>先程人生100年と言ったが、地域で何かやろうとすると平均年齢74、5歳になってしまう。公民館とどうコラボしたら講座ができるのかという話だが、高齢者のインドアの輪投げなど生涯スポーツは盛んである。とにかく場づくりも必要なのではないか。今70歳定年などと言っているが、65歳以上の人にいかに参加してもらおうかという視点が大事である。</p> <p>また、何をやるにしても後継者、リーダーを育てるにはどうしたらよいか、若い人をどうやって引き寄せるかである。一番良いのは行政と一体となったものだが、公民館の協力を得ながら、またご意見を聞きながら一つ一つ取り組んでいくべきだと感じる。</p>
委員長	<p>子育て中のお父さんお母さん向けの講座や高齢者向けの講座など、仕掛けを作っていくというのは容易なものではない。そこをなんとか工夫していかないと難しいのではないか。</p> <p>公民館という場所に人が集まってもらうために、興味深いことをやらなくてはならないということもあるが、会議ではなく、楽しいことで足を運んでもらう。そして、公民館になかなか出向いてもらえない方来られない方、特に高齢者や障害のある方に公民館として発信していけることが将来的にあればいいのかなと個人的に思う。</p>
委員	所沢市出身の方で将棋の羽生竜王が国民栄誉賞に決定したが、今度は羽生さんと藤井さんの対決にも非常に興味がある。吾妻公民館では小・中学生が勉強する場所が用意されているので覗いてみたら、あまり参加者がいなかった。所沢市の出身の方が国民栄誉賞ということなので、是非この機会に子どもを集めて夏休みなどに将棋教室をやっていただきたい。大会は所沢市でもやっている

委員（続き）	<p>が大会に出るためには将棋を覚えてもらわないといけない。頭が柔らかい子どもの時に覚えると一生趣味として将棋ができる。</p>
事務局	<p>社会教育課ではロータリークラブ主催で、今月の最終日曜日に毎年「とうきち杯」という将棋大会を開催している。4人一組での参加だが、今年は昨年より100人ほど参加者が多く、約300人の応募があった。今回のブームでやってみようと思ったお子さんが多かったのではないかと。公民館でもぜひ機会があれば講座をやっていただきたい。今将棋に関する問い合わせも多く、所沢でも少しブームなのではと思う。</p>
委員	<p>先ほどの趣味教養がなぜ悪いのかというご発言について、私も大事な点だと思った。私自身、大学の出身がまちづくり系の学科なのでどうしても社会教育というと、地域づくり、まちづくりと考えやすい。妻が地元の市民会館の文化祭の実行委員長をやって、いろいろなサークルの活動を見ていると、趣味とか教養のグループには着付けやビーズのサークルがあったり、様々な分野で皆さん活躍している。もし、公民館や市民会館にそういうグループがなくなったら、日本の伝統文化、地域文化がなくなってしまうので、もっと大事にしなくてはと家でも話したことがあった。</p> <p>また、以前所沢に住んでいて、同じマンションに住んでいた人がメンネルコールという男声合唱団に入っていた。DVDを見せてもらったり話を聞いたが、中高年の男性の方の繋がりができたり自分自身が成長している。趣味・教養の分野は、それなりの深まりがあって素晴らしいものだと思っている。</p> <p>以前、ユネスコに教育研究所というのがあって、所長が教養的な学習をもっと大事にしなければいけないという論文を書いた。中高年の方が自分自身の教養を深めることにより、生き生きとして病気にならなくなり、福祉行政のお世話にならなくなる。青少年は社会教育的な活動に参加することによって非行が減るなど、それぞれの個人が充実することが実は公的な財政の負担を減らし、社会の安全を保つことに繋がるという論文が出たことがあった。</p> <p>さらに、社会教育法でも公民館のところで、地域文化の振興という言葉が明記している。趣味とか教養の学習は個人個人が深まるだけでなく、そこから人の繋がりが生まれ、地域の文化を豊かにする効果があるのでとても大事だと思っている。</p> <p>前回その地域課題の話をしたと思いますが、所沢市がまちづくりセンターと公民館が一緒になったということで、地域の問題と公民館の関係が今までより近くなるのではないかと感じている。例えば、松井まちづくり協議会では、協議会が文化体育、環境自然、安心安全、健康福祉、自治交流と部会に分かれて</p>

<p>委員(続き)</p>	<p>いて、それぞれ固有の活動をしている。市民の方々が主体的に部会の中で活動していく中で、いろいろ問題意識が出てきたりすると、まちづくりセンターと公民館が合体しているので、公民館の学習講座として自然や防災、健康の問題などを扱うというところに繋がりやすいのではないかと思う。今、公民館がそういった環境にあるので、地域の学習、地域の課題が何かあれば公民館で学ぶということが、今まで以上にやりやすくなると思う。また、そうすることによって公民館の意味がもっと出てくるのではないかと思ったので、前回そういう話をさせていただいたという経緯がある。</p> <p>こういった部会で問題意識が生まれた時に、公民館で講師を呼んでこようとか、まちづくり協議会でのいろいろな経験が公民館の講座・学習に繋がるというケースはよくあるのですか。松井に限らず、そういうことがあれば、教えていただけますか。</p>
<p>松井公民館長</p>	<p>福祉部会や安心安全部会で地域の課題を吸い上げて解決していくとなると、確かに専門的な知識が必要になってくる。ただそれが、公民館の講座に繋がるというところまでには至っていない。公民館利用者の会の方も参加していたりするので、そういう知識を持っている人がアドバイスをしたりすることはあると思われる。把握はできていないが、私としても部会ごとの問題はハイレベルな知識がないと解決できないと感じるので、講座の中で知識を蓄えて解決していくという方法もあるのではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>公民館の職員の方が部会に出て行って、問題になっていることを吸い上げて、公民館講座として企画していくというような、協議会の議論と公民館の橋渡しの役割をするのが公民館職員かなと思う。そうったことができていればいいと感じた。</p>
<p>松井公民館長</p>	<p>松井公民館も今、まちづくりセンターになっているので、窓口グループ、公民館グループ関係なく職員がそれぞれの部会に出るような担当制を敷いているところである。</p>
<p>委員長</p>	<p>今日もいろいろお話をいただいた中で課題になってくるところもあると思うが、まちづくりセンターという館の中で公民館、コミュニティというところで共通の課題もありますし、共通にできていくことがこれから増えていくのではないかと思う。</p> <p>次に、(3)その他 について事務局よりお願いします。</p>

事務局	<p>【(3)その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第32回入間地区公民館研究集会」について(2月7日)について説明</li> <li>・入間地区社会教育協議会 生涯学習フォーラム(2月21日)について説明</li> </ul> <p>参加できる方は2月7日までに社会教育課までご連絡いただきたい。</p> <p>では、最後に閉会のあいさつを副委員長にお願いする。</p>
副委員長	<p>【6 閉会】</p> <p>ご多忙のところお集まりいただき、感謝申し上げます。このように、館長と委員さんが並んで座るといのは何年かやらせていただいた中で初めての試みだったと思うが、私は良かったと思う。一緒に考えていく雰囲気が出ていて、ちょっと相談しながら報告していただくというのも、とても良かったと思う。教育長の話にもあったが、地域ごとの特徴があって一つに揃えなければならぬわけではないが、市全体の公民館の在り方について考えていこうという、この場の雰囲気に非常にマッチしていたのではないかと感じた。</p> <p>今日の私の発見は、掃除というのも重要な公民館・社会教育活動なのだという事である。交流の場づくりで言うと事業や講座があり、まつりも非常に重要なことだと思いますが、それだけではない社会教育や公民館活動というのは日々の活動や交流の場づくり、関係づくりも含めたものなのだという事を今日の皆さんのお話を聞いて改めて実感させていただいた。</p> <p>次の会はまた先になると思うが、それぞれの地域での公民館活動の事例を皆さん自身で見聞きしていただいて、また報告していただければと思う。</p> <p>【閉会】</p>